

# 千葉市在宅医療・介護連携支援センター

## つながる通信 Vol.1



みなさん こんにちは！

千葉市在宅医療・介護連携支援センターも開設して2年になりました。開設1年目はまだまだ相談件数も少なかったのですが、令和元年度は約300件以上の相談を受けている状況です。様々なところで緑のパンフレットを見たことがある人は多いと思いますが、何をしているところだろうと思っている人もまだまだ多いのではないかと思います。



今回は私たちセンターがどのような相談を受けているのか少し紹介をしていきたいと思います。

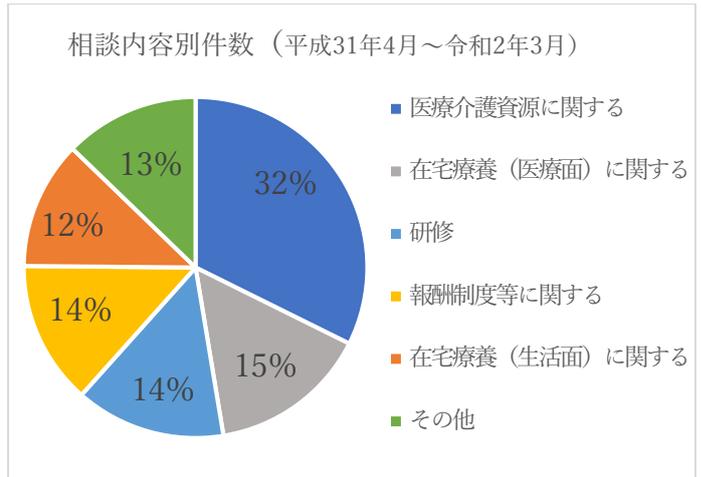
### その1 相談内容について

まずは相談の内容です。

☆1番多いのは医療介護の資源に関する相談です。

訪問診療の相談や、介護老人保健施設、地域包括ケア棟、まだまだ少ない介護医療院ってどのような人が利用できるのか？などが挙げられます。実際にはいろいろお話を聞かせてもらいながら相談と違う方向になる

こともありますが、サービスの方向性に迷ったときなどにも愚痴りながらご相談ください。



他にも、千葉市外の病院のMSWから千葉市内の資源を教えてほしいということもあります。実際にあったのは都内の大学病院に入院中で「がんのターミナルの患者が自宅での生活を希望している。訪問診療、訪問看護、ケアマネジャー、該当する病気に強いところを教えて欲しい」などと聞かれることがあります。その時にはみなさんの情報を資源として紹介させてもらうこともあります。

☆在宅療養における医療・介護・生活に関する相談は、例えばケアマネジャーからの相談を例に挙げますと、「入院中は地域連携室が退院調整に関して色々相談に乗ってくれて助かるけれど、退院して外来通院になると相談する窓口が変わってしまう場合があり、細かい相談が難しい」とか、「利用者と家族の狭間になって迷ってしまう」等の相談があります。

☆報酬制度については、平成30年度の改定は医療と介護の同時改定であったため、医療側は介護報酬の変更点がわからない。介護側は医療報酬の変更点がわからないなどということもあり、「退院時共同指導料」につ

いての相談や「訪問看護ステーションでの理学療法士等による訪問看護」についての相談がありました。令和2年度も医療の診療報酬改定ですね。新しい情報を取り入れて相談に乗れるようにしていきたいと考えています。

### 報酬制度について具体的な相談事例を一つ

みなさん、利用者のお薬管理どうしていますか？  
複数の薬を一包化してもらい、内服回数を減らせるか検討してもらったりとして、在宅では独居の人など訪問介護の時に内服したか見守ってもらっている等工夫していると思います。

☆インスリンはどうしていますか？ 1型の糖尿病（インスリンを絶対やめることができない人）は誰が見守りしていますか。毎日訪問看護師を入れるのは単位的に無理なときがあると思います。実は厚生労働省から発表のグレーゾーン解消制度に解釈が載っています。このような情報を相談があった事業所だけでなく幅広く周知したいと考えています。介護職員によるインスリン自己注射サポートに関する情報は

[https://www.mhlw.go.jp/shinsei\\_boshu/gray\\_zone/gray\\_zone.html](https://www.mhlw.go.jp/shinsei_boshu/gray_zone/gray_zone.html) ご参照下さい。

介護保険事業課にメールアドレスを登録されていれば適宜送らせていただいたり、またホームページ上に情報を載せたりするので、介護保険サービス事業者の皆様は是非ご活用ください

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/kaigohokenjigyo/keikaku\\_mailtouroku.html](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/kaigohokenjigyo/keikaku_mailtouroku.html)

## その2 相談者について

次はどのような人が相談しているのか紹介したいと思います。

病院の地域連携室や居宅介護支援事業所、あんしんケアセンターからの相談が多いです。その他は介護保険制度以外の障害者の施設や精神疾患に関する相談も増えてきています。相談支援専門員から担当の障害者の訪問診療をさがしているのでも教えて欲しい等もあります。また行政間の相談も結構あります。

当センターは専門職からの相談窓口ですが、市民からの相談もホームページを見ましたと言って電話があります。千葉県外に住んでいる息子さん、娘さんから千葉市内に住んでいる両親を心配しての相談が多いです。このようなときは、住所地のあんしんケアセンター等を紹介することもあります。



現在、千葉市医師会、千葉市薬剤師会と一緒に「お薬手帳」の活用法について話し合いを進めています。患者さんの服薬に関する大切な情報がたくさん集約されている「お薬手帳」です。今回このお薬手帳に使用できるカバーとカードを配布することにしました。今現在使っているお薬手帳にカバーをつけて、ケアマネジャーや訪問看護ステーション等の名刺を是非挟んでおいてください。また独居の利用者の緊急連絡先なども入れておいてくださいというものです。普段の名刺でOKです。お薬手帳がいっぱいになってもカバーと名刺を付け替えてもらえれば書き直しせずに済みます。予期せぬ緊急入院の時など、すぐに情報がわかるようになればいいなと思って作成しました。どうぞご活用ください。

詳しい情報は、当センターのホームページに掲載しますので是非ご覧ください。

緊急時連絡先	
氏名	(続柄)
電話	
氏名	(続柄)
電話	



### 千葉市在宅医療・介護連携支援センター

千葉市美浜区幸町 1-3-9 TEL043-305-5026 FAK043-305-5079 [renkeicenter.HWH@city.chiba.lg.jp](mailto:renkeicenter.HWH@city.chiba.lg.jp)

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkofukushi/renkeicenter/index.html>